

私は美術部に所属しています。2年生の時、私は「強くなりたい」という絵を描きました。小さな猫が、百獣の王であるライオンのような強い気持ちを持ち、崖の上にある王冠を手にしようとする絵です。私は、その題名の通り強くなりたいと思っています。この絵を描いたとき、人の目を気にしないで、人の噂話を気にしないで、強くなりたいと思っていました。しかし、今も私は強くなることができていません。相変わらず人の目は気になるし、人が自分のことをどう思っているのか考えてしまいます。

そんな時、私は世界の国々を取り上げたとあるテレビ番組を見る機会がありました。今、世界中の国々では持続可能な開発目標、つまりSDGsを達成しようと様々な取り組みが行われています。その番組では、目標4〔教育〕に関するメキシコの取り組みが取り上げられていました。メキシコでは子どもたちの低い識字率が課題で、その割合を上げようと取り組みが行われているそうです。小さな子どもたちは、学校に行くために3時間、ごつごつした岩や石が転がる山を登り下りしてしていました。また一人の女の子の話として、先生になりたいという夢とそのために読み書きを習得したいという目標が紹介されていました。

私はびっくりしました。そして、この子たちは強いと思いました。長い道のりを苦とも思わない心、自分の未来に向くキラキラした目。私の目指す強さが、メキシコの、先生になりたいという小さな女の子にありました。

私は小さい頃から英会話を習っていましたが、その英会話は、中3になる前に辞めてしまいました。辞めてから、英語を話すことの大切さに気づきました。英語で会話することは楽しく、その時間を通じて、英語を話す国々の文化や考え方をすることもできていました。元々は両親が、将来、様々な国の友達と話すことができるように、と習わせてくれていた英会話でしたが、長く習っていたので、私は目標を見失い、話すことの楽しさにも気付いていませんでした。他にも、習っていたピアノは進んで練習ができなかったし、フラダンスはしっかり踊りを覚えることができませんでした。私の、強くなれないヒントは、ここにあるように思いました。

冬休みに、機会があり、自分の描いた絵の高評をもらったり、アドバイスをもらったりすることがありました。高評をしてくださった先生は、中学生である私たちに、こうアドバイスをしてくださいました。

「僕たちは、あなたたちの絵の技術だけを見ていません。いくら上手な絵でも違う。今しか描けないものがある。」

「学生のみなさんは、いろいろなことで悩むこともあるでしょう。例えば勉強とか。絵を通してみなさんが考えたことを僕たちは見えています。」

メキシコのあの女の子にあって、私にないものは、キラキラした目です。いつでも学べる環境や学ぶことがたくさんある環境に慣れきってしまい、楽しみを見い出せていません。恵まれた環境を失ってから感じるのでは遅いのです。英会話のように。

メキシコのあの女の子にあって、私にないものは、つらいことを苦とも思わない心です。つらいことは何事にもつきものです。簡単に身につくもの、できるものばかりではありません。つらいことの中にも楽しみを見つける、3時間の通学路の途中、川で休憩するのが楽しみだった、あの女の子のように。

私は強くなりたいです。できることもできないことも、得意なことも苦手なことも、楽しく、つらい中にも楽しみを見つけていきたいと考えています。今、私は次に描く絵の題材を模索しています。あの時、先生に言われたように、日々目と心に試行錯誤していこうと思います。